

## 誓約書

日本腐植物質学会（以後学会とする）標準試料の頒布は、同試料を入手した個人またはグループが、各々で調製した腐植物質試料を研究材料として用いる際に、研究者共通の参考試料あるいは比較試料として活用されることを目的としています。

私（我々）は、

1. この目的を理解し、目的に合致した用途にのみ同試料を使用します。
2. 同試料を使用した研究の結果は、学会、学術誌その他で公表し、公表後速やかに論文別刷、講演要旨等の様式で貴学会に報告します。
3. 研究終了後、（別紙様式1）に従って速やかに報告書を作成し、貴学会に送付します。
4. 標準試料のみを対象とした実験結果を研究成果として発表することは致しません。
5. 標準試料購入後2年間は退会せず、会費も滞納しません（会員の場合のみ）。

以上相違ありません。

住所：

所属（部署・グループ名を含む）：

代表者役職・氏名（自署）： \_\_\_\_\_ 印

日付： \_\_\_\_\_ 年 月 日

## 腐植物質標準試料を使用した研究の結果報告書

提出日：

所属：

代表者（役職・氏名）：

連絡先：

購入年月日：

購入試料名と量：(例) 段戸フミン酸 1 単位, 琵琶湖フルボ酸 2 単位

研究目的と結果：(単に課題名だけではなく、どのような目的で標準試料を利用しどのような結果を得たのかを 800 字以内でできるだけ具体的にご説明ください。)

成果公表リスト (学会誌や講演要旨集、報告書の著者名、タイトル、誌名、巻号、ページ、発表年を明記してください)